# 古市（ふるいち）大池の耐震補強によるため池の決壊防止

3か年緊急対策　5か年加速化対策　国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概　　要：ため池堤体の耐震対策を実施したことで、令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震において震度5弱を記録したものの、ため池堤体の決壊を防止することができ、ため池下流の農地、住宅、公共施設への被害を防止した。

対 策 名：2 防災重点農業用ため池の防災・減災対策＜5か年加速化対策＞【農林水産省】

■ 実施主体：鳥取県

■ 実施場所：鳥取県米子市

■ 事業概要：地震による堤体の決壊を防止するため、耐震性が不足しているため池について耐震化工事を実施。

■ 事業費：

| 主な事業 | 実施内容 | 事業費 | 実施期間 |
|---|---|---|---|
| ため池改修事業 | ため池改修 | 約3.7億円 | R1～R4 |
| うち3か年緊急対策 | ため池改修 | 約1.5億円 | R1～R2 |
| うち5か年加速化対策（加速化・深化分） | ため池改修 | 約2.2億円 | R3～R4 |

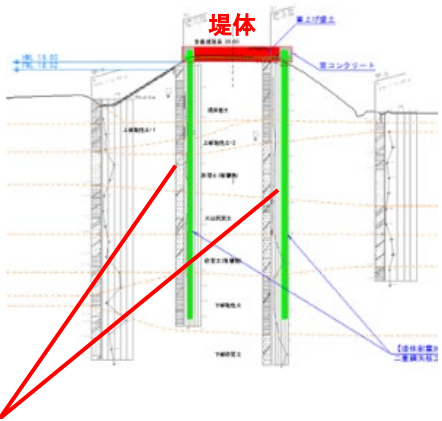
■ 災害の外力、被害と効果：
令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震により米子市は震度5弱を記録したものの、ため池の耐震化工事を行っていたことにより堤体の決壊が回避でき、ため池下流の農地、住宅、公共施設等の浸水被害を防止した。




【被害想定：想定額4.1億円】
・被害面積15.1ha
・被害想定建物24戸

## 耐震対策工事




堤体の耐震対策として二重矢板を設置

## 経済被害低減効果

ため池が決壊した場合に想定される浸水被害（想定被害額約4.1億円※）の発生を防止。

※想定浸水範囲内の家屋・資産への被害額を推計

